

# コミュニティ・スクール情報

2022. 12. 16



令和4年12月5日(月)  
10:00~12:30  
押切小学校 集会室

- ◇ 授業参観 10:00~10:25
  - 1年 算数 どちらがひろい
  - 2年 音楽 いろいろな楽器の音をさがそう
  - 3年 国語 くらしと絵文字
  - 4年 算数 垂直、平行と四角形
  - 5年 算数 単位量あたりの大きさ
  - 6年 算数 順序よく整理して調べよう
- ◇ 給食試食 12:00~12:20

## 1. 学校運営状況の説明 (鈴木康喜校長より)

- 新型コロナウイルスの状況、1. 2年生学級閉鎖の対応。3年生以上は、ポツポツと欠席が見られる。家族感染や保護者からの感染が多い。濃厚接触による数日の欠席など、なかなか普通の授業とはならないが、学校行事はなんとか予定通り実施してきている。
- 来年度に公開研究会が予定されている。また、2年後には150周年を迎える。準備委員会を設立し記念講演等を考えている。祝賀会はPTAが実施する方向性でいる。
- めざす学校像に関わって  
学校研究を中核に、学びあい、主体的に考えを深め、わかる実感がもてる魅力ある授業づくりに努めているところである。今年度の重点として以下の4つ特に取り組みをすすめている。
  - ・【たくましさ しなやかさ】健康指導・学習指導にかかわり  
スクリーンタイムの改善と望ましい運動習慣による健康な体づくりへの対応。
  - ・【かしこさ なかま】学習指導・生徒指導にかかわり  
学校研究を中核に、指導主事の指導をいただきながら、学びあい、主体的に考えを深め、わかる実感がもてる魅力ある授業に取り組んでいるが、コロナ禍で欠席児童もいて、少しでも遅れないよう休んでいる児童のためオンライン授業を配信し、学力の保障を確保しているところではある。ただ、学校にカメラが2台しかないこともあり、学年をこえて利用計画をつくりながら行っている。先生方は一生懸命授業づくりにはげんでくれている。
  - ・【やさしさ】生徒指導・健康指導にかかわり  
いじめのおきにくい集団づくりに努めている。11月のいじめアンケートを実施したところ、児童と先生方からの聞き取りの結果16名を認知し、継続的な状況把握と指導を行うこととしている。
  - ・【ともに】特別支援教育にかかわり  
共生社会への理解を基盤とし、個に応じた支援を充実させ成長をめざしている。

### 学校課題として

- スクリーンタイムの改善については保護者と一緒に考え取り組んでいる。特に、めあてを工夫しそれぞれのペースで減らそうとしているようにうかがわれる。スクリーンタイムスーンタイムについては2時間、ゲームは30分以内と家庭での約束を決めて取り組んだ。

(スクリーンタイム2時間以内の達成率) (平日ゲーム30分以内)

6年生	41.7%	6年生	50.0%
5年生	63.2%	5年生	31.6%
4年生	88.2%	4年生	70.6%
3年生	85.7%	3年生	71.4%
2年生	76.0%	2年生	48.0%
1年生	90.8%	1年生	90.9%
全体	76.1%	全体	60.6%

- 生活リズムにかかわって（生活リズムと学習は大きく関わる）  
（朝食のバランス）  
毎日、朝ご飯を食べている児童は97.2%であった。そのバランスをみると、緑の食品（食物繊維）の割合が赤・黄と比較して低い状況がみられた。  
（休日の睡眠）  
平日より遅くおきて、遅くねる児童が多い傾向にある。平日の睡眠が不足している可能性もある。休日の生活リズムが乱れると、平日も乱れやすくなる。差が開きすぎないように心がけたい。  
PTAで、「ヤクルトさんの質のよい睡眠」の研修会を予定したが、コロナ感染で2月に延期している。
- チャットを使った書き込みの問題が発生した。  
授業中に、タブレットを使って書き込み、また、夜にも同じような実態があり全校に指導した。携帯のオンラインゲームにはまり夜寝るのが遅くなることや、ラインを利用している児童もみられる。
- 下校時の怪我の問題。グレーチングに関わる怪我（今年度4件、転倒による骨折1件含む）

## 2. 学校運営に関わって（委員の方より）

- 小学生が携帯を持つことの指導は今どのようなになっているのか。  
（校長）携帯を持つことに関わっては、親の考え方にも多様性がみられる。親の帰りが遅くなることで、防犯上の問題で持たせたいという方もいる。一概にそれをだめだとは言えない。親の責任で管理をしっかりしてくださいと伝えることぐらいで私生活には踏み込めない。
- 出会い系サイトなど問題につながる利用の仕方への指導はどの程度行われているのか。  
（教頭）学校では、KDDIの方を招いて、4年生以上にスマホ依存や犯罪に巻き込まれる恐れがあることについて事例をもとに指導を行った。また、課金の問題にも触れていただいた。
- チャットの書き込みが問題になったようだが、いじめにつながるような実例はあったのか。  
（教頭）書き込みの問題が生じた時にはなかった。ただ、いじめにつながりかねないものはあった。言葉などが荒くなる傾向がみられた。
- タブレットの持ち帰りについて、常に持ち帰りということには異論もある。  
（委員会）コロナ禍でオンライン授業へ備え持ち帰りをすすめた。今は担任の指導で持ち帰らせている。基本的に持ち帰りということではないのだが、タブレットの充電のためもあり持ち帰らせていることもある。
- コロナ禍で教室換気を行っているのだと思うが寒く感じられた。温度管理などは？  
（教頭）教室には温度計を設置しており20度程度を維持している。
- プログラミングの指導についてはどのようなになっているのか？  
（校長）理科の中で行われている。校内で詳しい教員の説明を聞き互いに研修し授業で取りいれている。
- ITの活用やコロナ禍での対応で教員の負担はどうか。  
（校長）以前ほどの負担とは感じていない。IT活用が職員の中で共有化されつつあることや、職員のコロナ対応への慣れ等もある。ただ、リモート授業への対応については、準備の関係もあり負担となっている。
- いじめの内容としては？  
（教頭）悪口を言う。軽くぶつかったことが児童の関係性によっていじめと受け取ることもある。
- 通学路にあるグレーチングの危険性について  
通学路が少し遠回りになっても安全性を重視したほうがよい。  
見守り隊へ期待したいところだが日常的ではない。学校の対応には感謝。  
グレーチングの場所が危険であるという意識づけをどう児童に理解させていくか。

## 3. 町民運動会について

- 極力実施の方向で考えてほしい。  
町内会の融和。顔を知る機会。  
開催の判断はどこで？

## 4. 子どもの素地を育てるかについて

- これまでの各学校で協議してきたことのまとめ  
（コーディネーター）  
委員会が考えている新組織の説明（教委）
- これまでの組織を一本化し、相互に連携をとる組織には期待したい。

